

# ACL-TIMES 35

2017 春号

## EVENT !! 第21回 群馬県歯科医学会・学術大会 & 群馬デンタルショー

📅 2017/1/22 📍 群馬県歯科医師会館 ✍️ 松田 正彦(総務部部長)

平成 29 年 1 月 22 日 (日) に群馬県歯科医師会館 4 階にて第 21 回群馬県歯科医学会・学術大会が行われ、同日に群馬デンタルショーも上階にて開催いたしました。

弊社では、デンタルショー会場へのブース出展のほか、学術大会プログラム演題 5 番として、営業課長の遠藤が「チタンベースを用いたインプラント上部構造製作」という内容にて、多くの方々にご聴講いただきました。多くのインプラント症例に携わってきた経験の中から、上部構造を発端としたインプラント歯周炎の原因解消になるインプラント上部構造のご提案ができたかと思えます。

また、デンタルショーでは、製作依頼が増加しているフルジルコニア製品と CAD/CAM で設計する矯正装置のデジタルライナー (弊社製品名) をメインにブース展示を行い、多くの先生方とお話をさせて頂きました。ご来場頂き、誠に有難うございました。

### 群馬デンタルショー 学術大会プログラム演題5 チタンベースを用いたインプラント上部構造の製作

✍️ 遠藤 隆雄 (営業課課長)

インプラント上部構造の選択は、材質・構造ともに選択肢が多く、どの材質が適当なのか悩まされることが多い。チタンベースが追加されたことで、様々な材質への対応が可能になった。中でも、プラークコントロールを考慮したジルコニアカスタムアバットメント、オールジルコニア製の需要は益々増えてくることが予測できる。インプラントメーカーには、CAD とミリングセンターを持ち合わせているメーカーもあり、様々な素材を選択できる。しかしその殆どが CAD 等を持ち合わせていないため、チタンアバットメントは製作できても、ジルコニア・オールセラミック等の使用がスムーズに移行できずにいた。しかし、チタンベースを使用する事で殆どのインプラントメーカーに対応でき、インハウスでジルコニアを切削、その後ラボで接着する事で、今まで抱えていた問題をクリアする事が可能になった。

その中で今後の課題となるのが、チタンベースと、上部構造体の間に生じるセメントライン、マイクロギャップを、どの様に攻略し最小限に抑えられるかが問われる。もちろん適合性能に関わる問題とも言えるだろう。この様な問題にも着目しながら、今後お話できる機会があれば、ご報告させていただきたい。



(写真1段目)  
群馬デンタルショー会場の様子

(2段目)  
群馬デンタルショーで出展した弊社ブース

(3段目)  
弊社営業課長 遠藤による学術大会講演の様子

(4段目)  
学術大会で発表したことを証する発表証



## 日本歯科新聞記事掲載

弊社代表、宗村裕之のインタビュー記事が、日本歯科新聞（2017年1月10日発行）に掲載されました。歯科技工業界の展望についてと、弊社が運営する卒後教育機関「デンタルアカデミー東京」の在り方についてが語られています。

2017年4月より「マスターセラミストスクール」は「**デンタルアカデミー東京**」へと名称変更となります。当校では、受講生を広く募集しておりますので、ご興味のある方はホームページをご参照ください。

**URL** <http://dental-academy.tokyo/>

日本歯科技工士会様と日本歯科技工所協会様、そして陶友会のいずれかの会員の方は入学免除としておりますので、ご検討中の方はご連絡頂ければと思います。



## 第6回 歯科技工所見学実習開催

📅 2017/1/27～(全4回) 📍 ACL 本社 ✍️ 松田 正彦(総務部部長)

毎年この時期に太田医療技術専門学校の歯科衛生学科の生徒さんへ、技工所見学実習をさせていただいております。歯科技工所を見学する機会は少ないと思いますのでこのような体験はととても良いことだと思います。どうやって技工物が作られるのか？石膏模型の注ぎ方、現在のCAD/CAM 技工など、普段何気なく手に取っている技工物を学んで何かお役にたつことができれば幸いと思っております。

まだまだ、実習と勉強が続くでしょうが頑張ってください、輝いた歯科衛生士さんになっていただきたいです。



歯科技工所見学実習の様子

新機能

アトランティス スープラストラクチャー

### ASA / アーザ

ASA / アーザ（アンギュレーテッド スクリュー アクセス）を使用すると、最適な審美的、機能的結果を得るために、インプラント / アバトメントの軸に対して補綴スクリューのアクセスホールを最大30°まで修正できます。

接合部は、お客様のご要望に応じて、各接合部の角度と高さのパラメーターを考慮しながらデザインコーディネーターが個別にデザインします。

### 最適なスクリューヘッドとドライバーのデザイン

新しい ASA / アーザの付いたすべての接合部には、対応する AS の補綴用スクリューが付属しています。スクリューは、ASA / アーザの機能と併用できるように特別にデザインされます。さらに、ドライバーのデザインが六角形になっていることで、スクリューを簡単に取り付けることができ、スクリューの軸に対して常に直角に力を加えて挿入できます。スクリューとドライバーを併用することで、スクリューヘッドが変形するリスクを大幅に軽減できます。



ASAあり(左)となし(右)



ASA スクリュー ヘッドの形状



スクリューとドライバーの接合部

## デンタルアローズ勉強会に参加して

📅 2017/2/19 📍 松風バイオフィックス株式会社 ✂ クラウン部 山下道之 / 近藤隼平 / 時田裕一 / デンチャー部 森山徹

2017年2月19日(日)、松風バイオフィックス株式会社(東京文京区)にて、第2回デンタルアローズの勉強会が開催され、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士ら約30人が集まりました。

スタディグループ「デンタルアローズ」は2016年に誕生、戦国武将の毛利元就氏の有名なエピソード「三本の矢」にちなみ、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の三職が歯科医療への貢献を目的の一つになり、お互いに知見を深めていこうというコンセプトから名付けられています。

①小澤俊文先生(歯科医師)の「上顎洞挙上術前の副鼻腔のチェックポイント」、②宗村裕之先生(歯科技工士)の「アナログライナー vs デジタルライナー」、③川澄恵美先生(歯科衛生士)の「MTMに基づく治療の流れ」、④堀口志津代先生(歯科医師)の「口腔外科および病院歯科で経験した症例」、山田嘉宏先生(歯科医師)の「歯科医療従事者が知っておくべき認知症について」、江崎友大先生(歯科医師)の「私がアメリカ大学院時教わったフルマウス治療の一連の流れー補綴処置を中心としてー」、青柳恵子先生(歯科医師)の「歯科ドックについて」、⑧丸山啓介先生(歯科医師)の「BIOFIXを用いた1症例」、⑨中里佳一郎先生(歯科医師)の「骨関連病変に関する臨床的検討」、⑩鈴木佐栄子先生(歯科衛生士)の「日本口腔インプラント学会認定施設におけるインプラントハイジニストコース」、⑪鈴木郁夫先生(歯科医師)の「社会問題となる全身疾患と歯科予防、大白歯部にBIOFIXを用いた1症例」。

各方面でご活躍されている著名な方々が11人も一堂に集結し講演されるという、大変盛り沢山な内容であり、お得な勉強会だと感じました。一つ一つの講演後にも、様々な質問や補足などが活発に飛び交い、疑問に思ったことがあれば皆で解決しあうなど、それぞれが真剣に歯科医療に取り組み合っている姿を見ることができました。そして、歯科医師の先生方は、歯科はもちろんのこと他分野にも視野を広げ日々勉強されている事、衛生士の方々が資格の勉強をしている事を目の当たりにし、私たちも歯科技工士というひとつの目線からではなく多方面から歯科医療を考えることの重要性を感じました。

今後は演者の先生方のように更に知識と技術を向上させ、より良い技工物を製作し、歯科医療の向上に貢献できる歯科技工士になれるように努力をしていきたいと強く感じた良い一日になりました。これからも日々技術の向上や知識を増やし、臨床に活かせる様努力してまいります。



(写真1段目) デンタルアローズ勉強会 会場の様子  
(2段目) 鈴木郁夫先生による講演の様子  
(3段目) 勉強会参加者・演者で記念に撮影した集合写真

マスターセラミストスクール

## 最終卒業記念講演会

📅 2017/3/11 📍 ACL 本社 (中継先: マスターセラミストスクール)

3月11日、マスターセラミストスクールとして最後の卒業式が行われました。卒業式では、記念講演として枝川先生の講演会も催されるということで、一般の方や関連企業の方などにもご来場頂きました。ACL本社では、その講演会をライブ中継で聴講致しました。

枝川先生のご講演、「補綴臨床の要点」は、歯科技工士が歯科技工の道を歩み、歯科技工士として生計を立てる上での非常に重要なヒントを提示していただいております。技工技術について言及される事から、更にはラボの運営について取り組まなければ成らない事など、ご自身の経験や探究心から多くの事を語って頂きました。



卒業記念講演会ライブ中継の様子

# 歯を 作る。

単純な様で奥深い  
この使命のため、  
私たちは技術を磨き  
人を育みます。

## グローバルに作る



ハワイ支社を設けることにより、海外の最新情報、歯科材料、システムなどをスムーズにご提供する事が可能となっております。そして、海外で活躍している歯科事業者ともネットワークを構築することで海外の歯科事情についても御案内可能です。

## 最新システムで作る



審美的にも機能的にも優れた技工物をご提供するためには、歯科技工士達の技術と、それを支える最新技術が必要不可欠です。弊社では最新のCAD/CAMシステムからプレスファーマス、機能性の高い義歯をご提供するためのシステムを多数導入しております。

## 職人の手で作る



各学会の認定を各歯科技工士が取得することにより、ご要望に正確にお応え出来るようにしております。足利セラミックラボラトリーでは、学会認定技工士ならではの技術力に裏打ちされた高精度の技工物をご提供しております。



<b>日本口腔インプラント学会 認定歯科技工士</b> 5名在籍	<b>国際口腔インプラント学会 認定歯科技工士</b> 6名在籍
<b>日本歯科技工士会 認定講師</b> 1名在籍	<b>日本歯科技工学会 認定士</b> 1名在籍
<b>BPS システム 認定技工士</b> 2名在籍	
<b>その他所属学会</b> 日本インプラント臨床研究会 SJCD国際学会 デンタルコンセプト21 日本歯科技工士会 / 日本歯科技工学会 日本顎咬合学会 / 日本歯科審美学会 日本デジタル歯科学会 日本臨床歯科CAD/CAM学会 日本歯科技工所協会 小嶋会 / スタディグループ「あゆみ会」	

